



2022 年 6 月 1 日

報道各位

第 62 回、優れたクリエイティブを表彰する日本最大級のアワード 「2022 62nd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」

6 月 1 日よりエントリー受付開始

～広告、マーケティング、メディア、デザイン、テクノロジーなど各界を代表する多彩な審査委員が集結～

一般社団法人 ACC（英文名：All Japan Confederation of Creativity、東京都港区、理事長：高田 坦史）は、あらゆる領域のクリエイティブを対象としたアワード「2022 62nd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」（URL：<http://www.acc-awards.com/>）のエントリー受付を、2022 年 6 月 1 日（水）より開始いたします。

応募部門は、フィルム部門、フィルムクラフト部門（2022 年度新設）、ラジオ＆オーディオ広告部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、デザイン部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の全 8 部門です。

本年も、様々な業界の第一線で活躍するクリエイターや有識者など、各部門とも多彩な顔ぶれの方々に審査いただきます。

■審査委員一覧 <http://www.acc-awards.com/juries2022/>



エントリー期間は、6 月 1 日（水）～6 月 30 日（木）18 時まで。作品の応募は、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにてユーザー登録後、マイページよりご応募いただけます。

入賞作品は、9 月下旬～10 月中旬に各部門のショートリストを発表。その後、最終審査を経て ACC グランプリ、ゴールドをはじめとする全入賞作品を決定、発表いたします。



「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」では、より多くの秀逸な作品を顕彰することで、さまざまな企業や団体、クリエイターの日頃の取り組みに光を当てると共に、更なる日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく努めてまいります。

なお、各部門の応募要項や審査委員紹介など、詳細は以下の通りです。

「2022 62nd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」概要

<トピックス>

■フィルムクラフト部門を創設

「フィルムにおけるアイデアを卓越した制作技術によってクオリティ高く実現した作品」「より強く人の心に響かせるためのイノベーティブでユニークネスなクラフト力のある作品」に贈られます。

<フィルムクラフト部門詳細>

https://www.acc-awards.com/2022fes/film_craft/

【スケジュール】

■エントリー期間

- ・前期料金対象期間：6月1日(水)～6月15日(水)23:59まで
- ・後期料金対象期間：6月16日(木)～6月30日(木)18:00まで

■入賞作品発表

- ・ショートリスト発表：9月下旬～10月中旬
発表のタイミングは部門ごとに異なります。
- ・各部門グランプリなど全入賞作品発表：11月上旬
詳細が決まり次第、アワードサイトにてお知らせいたします。

【部門構成および参加資格】

■フィルム部門

- ・A カテゴリー（テレビCM、地域テレビCM）
2021年7月1日～2022年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCMが対象。
- ・B カテゴリー（Online Film）
2021年7月1日～2022年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。
初公開日は問わない。



■フィルムクラフト部門 ※新設

以下のいずれかを満たす動画が対象。

- ① 2021年7月1日～2022年6月30日までの間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。
- ② 2021年7月1日～2022年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。
初公開日は問わない。

■ラジオ＆オーディオ広告部門

- ・A カテゴリー（ラジオCM、地域ラジオCM）

2021年7月1日～2022年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCMが対象。

- ・B カテゴリー（オーディオエグゼキューション）

2021年7月1日～2022年6月30日までの間に日本国内で公開・実施された、音声広告や音声を使用したコンテンツ、エグゼキューション、サービス、プロダクトが対象。

■マーケティング・エフェクティブネス部門

2021年7月1日～2022年6月30日の間に、テレビCM、ラジオCM、新聞・雑誌、Web、イベント等で展開されたキャンペーン施策。

※継続中のキャンペーンであれば、過去にエントリー歴のあるものも応募が可能です。

ただし、過去にエントリーした際と、「成果」の違いを明確に示してください。

＜サブカテゴリー＞ エントリーの際に、以下A・Bのいずれかをご選択ください。

A：ショートターム・エフェクティブネス

単年度のマーケティング活動やクリエイティブアイデアにより、成果をあげたキャンペーンを評価します。

B：ロングターム・エフェクティブネス

複数年にわたって持続性のあるマーケティング活動やクリエイティブアイデアにより、生活者とのエンゲージを深め、今年その成果をさらに向上させたキャンペーンを評価します。

※サブカテゴリーは、あくまでカテゴリーの領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。カテゴリーごとの賞を出すためのものではありません。

■ブランデッド・コミュニケーション部門

2021年6月1日～2022年6月30日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたブランデッド・コミュニケーション（広告/キャンペーン/ブランデッド・コンテンツ）が対象。

※2021 年 6 月 1 日～6 月 30 日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

※複数の部門、カテゴリーへの応募は可能です。

・ A カテゴリー：デジタル・エクスペリエンス

デジタルテクノロジーを活用した表現における卓越したデザインと優れたユーザーエクスペリエンス、クリエイティビティとクラフトマンシップを表彰します。

・ B カテゴリー：プロモーション/アクティベーション

商品やサービスの購入や利用に対して、ターゲットの積極性を促すことができた最も新しくて創造的なアイデアを表彰します。

・ C カテゴリー：PR

社会やコミュニティにおいて新たな合意形成を図ることで、ブランドと生活者の間の信頼関係を築き、生活者の意識や態度を変容させたプロジェクトを表彰します。

ACC では PR のアイデアやクリエイティビティも重視します。

・ D カテゴリー：ソーシャル・インフルエンス

ブランドのために創られた、ソーシャルメディアやデジタル上のコンテンツの優れたクリエイティビティや美しい設計、その拡散力を表彰します。

■デザイン部門

2021 年 6 月 1 日～2022 年 6 月 30 日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたデザインが対象。

※2021 年 6 月 1 日～6 月 30 日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

<審査対象カテゴリー>

1. ブランドデザイン分野（ブランディングや広告に関するコミュニケーションのデザイン）
2. エクスペリエンスデザイン分野（サービスや UI/UX、インストールのデザイン）
3. ソーシャルデザイン分野（地域や社会の課題解決など、未来に向けてのデザイン）
4. プロダクトデザイン分野（プロダクトやパッケージなど製品に関するデザイン）
5. スペースデザイン分野（空間や施設、建築など場に関するデザイン）

※審査対象カテゴリーは、あくまで部門の領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。カテゴリーごとの賞を出すためのものではありません。

■メディアクリエイティブ部門

2021 年 6 月 1 日～2022 年 6 月 30 日の期間に、実施された（放送・出稿等された）メディアのアセットを活用した仕掛けや取り組み。



※2021 年 6 月 1 日～6 月 30 日に実施されたものについては、昨年応募されていないことが条件です。

■クリエイティブイノベーション部門

未来を創り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で産み出されたプロダクト&サービスと、プロトタイプ。

※上市または社会実装、ローンチの時期は問いません。

昨年エントリーしたもののでも応募が可能です。その場合は、従前のものとの違いや差分を明らかにしてください。

【審査委員長】

■フィルム部門

細川 美和子（（つづく）／CREATIVE DIRECTOR、COPY WRITER）

■フィルムクラフト部門 ※新設

多田 真穂（電通クリエイティブ X、Dentsu Craft Tokyo／執行役員、エグゼクティブプロデューサー）

■ラジオ & オーディオ広告部門 ※新任

古川 雅之（電通関西支社／グループ・クリエイティブ・ディレクター、CM プランナー、コピーライター）

■マーケティング・エフェクティブネス部門 ※新任

簗部 敏彦（花王／作成センター コミュニケーション作成部 コミュニケーション作成部長）

■ブランデッド・コミュニケーション部門

橋田 和明（HASHI／クリエイティブディレクター）

■デザイン部門 ※新任

太刀川 英輔（NOSIGNER CEO／JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会)理事長／進化思考提唱者／2025 大阪関西万博日本館基本構想クリエイター）

■メディアクリエイティブ部門

中谷 弥生（TBS テレビ／総合編成本部 DX ビジネス局長）

■クリエイティブイノベーション部門 ※新任

中村 洋基（PARTY Creative Director, Founder／ヤフー メディアカンパニーMS 統括本部 ECD／電通デジタル客員 ECD／combo 代表取締役）

<各部門の審査委員一覧>

資料 1 をご参照ください。



一般社団法人 ACC

〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田エオンビル 6F TEL 03 - 3500-3261

■ロゴ、トロフィー



<「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイト>

URL : <http://www.acc-awards.com/>

<主催：一般社団法人 ACC>

URL : <http://www.acc-cm.or.jp/>

【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催する広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく広げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、ACC グランプリはクリエイティブにたずさわる人々の大きな目標となっています。

【ACC とは】

よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に活動を開始しました。



一般社団法人 ACC

〒105-0003 港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F TEL 03 - 3500-3261

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・メディアの 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263 URL : <http://www.acc-cm.or.jp>

一般社団法人 ACC 担当：平川



資料 1

「2022 62nd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」

各部門 審査委員一覧

(敬称略、審査委員は五十音順)

■フィルム部門

審査委員長

細川 美和子 ((つづく) / CREATIVE DIRECTOR / COPY WRITER)

審査委員

麻生 哲朗 (TUGBOAT / CM プランナー、クリエイティブディレクター)
正親 篤 (なかよしデザイン / 代表取締役、AD・CD・PL)
神田 祐介 (博報堂クリエイティブ・ヴォックス / クリエイティブディレクター、CM プランナー)
城殿 裕樹 (KEY Pro / CEO、チーフプロデューサー)
国井 美果 (株式会社国井美果 / コピーライター、クリエイティブディレクター)
栗田 雅俊 (電通 / クリエイティブディレクター、CM プランナー、コピーライター)
児島 令子 (児島令子事務所 / コピーライター)
清水 恵介 (TBWA\HAKUHODO / クリエイティブディレクター、アートディレクター)
正樂地 咲 (電通関西支社 / コピーライター・プランナー)
鈴木 晋太郎 (電通 / クリエイティブディレクター、CM プランナー、コピーライター)
鈴木 わかな (トランポリン / ディレクター)
田中 嗣久 (ディレクター)
福部 明浩 (catch / クリエイティブディレクター、コピーライター)
藤井 亮 (GOSAY studios / 映像作家、クリエイティブディレクター)

ほかご依頼中

■フィルムクラフト部門

審査委員長

多田 真穂 (電通クリエイティブ X、Dentsu Craft Tokyo / 執行役員、エグゼクティブプロデューサー)

審査委員は、決まり次第アワード特設サイトにて発表します。



■ラジオ＆オーディオ広告部門

審査委員長

古川 雅之 (電通関西支社／グループ・クリエイティブ・ディレクター、CM プランナー、コピーライター)

審査委員

久間 恵子 (博報堂クリエイティブ・ヴォックス／コピーライター、クリエイティブディレクター)
佐藤 満春 (ケイダッシュステージ／芸人、放送作家)
澤本 嘉光 (電通グループ／グロース・オフィサー、エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)
しりあがり寿 (漫画家／さるやまハゲの助 代表)
中山 佐知子 (ランダムハウス／コピーライター、ディレクター)
野田 絵美 (博報堂 DY メディアパートナーズ／メディア環境研究所 上席研究員)
橋本 吉史 (TBS ラジオ／プロデューサー)
畠山 侑子 (大広 WEDO／コピーライター、プランナー)
春田 凧彩 (電通／第 4CR プランニング局 コピーライター、プランナー)
森田 一成 (ビッグフェイス／コピーライター、ディレクター)
山崎 博司 (博報堂／クリエイティブディレクター、コピーライター)

ほかご依頼中

■マーケティング・エフェクティブネス部門

審査委員長

簗部 敏彦 (花王／作成センター コミュニケーション作成部 コミュニケーション作成部長)

審査委員

加藤 倫子 (電通／コミュニケーションプランナー、PR プランナー)
北田 有一 (電通／第 1CR プランニング局 クリエイティブ・ディレクター)
黒澤 高次 (博報堂／クリエイティブコンサルティング局 局長、エグゼクティブ クリエイティブ ディレクター、
日本マーケティング協会 マーケティングマスターコース「コミュニケーションデザイン」講師)
佐々木 貴子 (博報堂／第三ブランドトランスフォーメーションクリエイティブ局 局長、
エグゼクティブ クリエイティブ ディレクター、コピーライター)
楯 美和子 (ローソン／執行役員 コミュニケーション本部長 兼 広報部長)
田中 壮太郎 (ADK クリエイティブ・ワン／第 1 クリエイティブ局長、シニアクリエイティブディレクター)
西田 裕美 (アクセンチュア／ビジネスコンサルティング本部 コンサルティンググループ マネジングディレクター)
馬場 直也 (サントリーホールディングス／宣伝部部长 兼 デジタルマーケティング部部长)
平井 秀治 (ロッテ／執行役員 マーケティング本部長)
藤本 修二 (東急エージェンシー／第 1 統合ソリューション局 第 1 統合プランニング部部长、
クリエイティブディレクター)
細川 万理 (ADK クリエイティブ・ワン／クリエイティブ・ディレクター、コピーライター)
堀内 有為子 (東急エージェンシー／第 2 統合ソリューション局 第 3 クリエイティブ部 部長)
宮園 香代子 (ソフトバンク／東日本エリア営業本部 本部長)



■ブランデッド・コミュニケーション部門

審査委員長

橋田 和明 (HASHI/クリエイティブディレクター)

審査委員

飯田 訓子 (Wunderman Thompson Tokyo/Associate Creative Director)
イム ジョンホ (mount/CEO、クリエイティブ・ディレクター)
大八木 翼 (エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/SIX パートナー/バスキュール執行役員)
尾上 永晃 (電通/プランナー)
加我 俊介 (電通/クリエイティブディレクター、コミュニケーションプランナー)
木下 舞耶 (電通/コピーライター、PR プランナー)
栗林 和明 (CHOCOLATE/取締役、Chief Content Officer)
小島 翔太 (博報堂/クリエイティブディレクター、CREATIVE TABLE 最高 チームリーダー)
嶋野 裕介 (電通/zero クリエーティブ・ディレクター、PR ディレクター)
菅野 薫 (クリエイティブ・ディレクター・コレクティブ (つづく) /Creative Director
Dentsu Craft Tokyo/Head of Creative、Executive Creative Director
Qosmo/社外取締役、Executive Creative Director)
財田 恵里 (博報堂/PR ディレクター)
細田 高広 (TBWA\HAKUHODO /Chief Creative Officer)
三浦 崇宏 (The Breakthrough Company GO/代表取締役、PR、Creative Director)
南 麻理江 (湯気/代表取締役、編集者)
村上 絵美 (ADK クリエイティブ・ワン/クリエイティブディレクター、アートディレクター)
李心寧 (Whatever Taipei/Creative Director)
湧川 晶子 (博報堂/クリエイティブディレクター、プランナー)

ほかご依頼中

■デザイン部門

審査委員長

太刀川 英輔 (NOSIGNER CEO/JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会)理事長/
進化思考提唱者/2025 大阪関西万博日本館基本構想クリエイター)

審査委員

川村 真司 (Whatever Chief Creative Officer、Co-Founder/WTFC Chief Creative Officer)
小玉 文 (BULLET/代表、アートディレクター、デザイナー)
武部 貴則 (横浜市立大学 特別教授/コミュニケーション・デザイン・センター センター長、
東京医科歯科大学 統合研究機構 教授、
シンシナティ小児病院オルガノイドセンター副センター長/消化器部門・発生生物学部門 准教授)
塚田 有那 (編集者・キュレーター/一般社団法人 Whole Universe 代表理事)
原田 祐馬 (UMA/design farm 代表/どく社 共同代表)
ムラカミ カイエ (SIMONE/CREATIVE DIRECTOR)
ライラ カセム (一般社団法人シブヤフォント アートディレクター/
東京大学「共生のための国際哲学研究センター」 (UTCP) 特任研究員)



■メディアクリエイティブ部門

審査委員長

中谷 弥生 (TBS テレビ／総合編成本部 DX ビジネス局長)

審査委員

石井 玄 (ニッポン放送／エンターテインメント開発部 プロデューサー)

今西 周 (日本コカ・コーラ／日本・韓国オペレーションユニット、
マーケティング本部 IMX (インテグレートッド・マーケティング・エクスペリエンス) 事業本部長)

榊原 誠志 (テレビ朝日／ビジネスソリューション本部 コンテンツ編成局 総合編成部長)

関 龍太郎 (Google Japan／Creative Works、Creative Director)

瀧川 千智 (博報堂 DY メディアパートナーズ 新聞雑誌局アカウント推進部 メディアプロデューサー／
メディア環境研究所 上席研究員／博報堂キャリアジョ研)

永田 佑子 (Z ホールディングス 執行役員／ヤフー マーケティング統括本部長)

波多野 玲奈 (NTT ドコモ／プロモーション部 主査)

平井 孝昌 (ADK マーケティング・ソリューションズ／
エクスペリエンス・デザインセンター パーティカル・プランニング・ディレクター)

前田 淳子 (電通／ソリューションクリエイションセンター エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

宮道 治朗 (フジテレビジョン／編成制作局 アナウンス室 局長職 兼 室長)

■クリエイティブイノベーション部門

審査委員長

中村 洋基 (PARTY Creative Director、Founder／ヤフー メディアカンパニーMS 統括本部 ECD／
電通デジタル客員 ECD／combo 代表取締役)

審査委員

木寄 綾奈 (NewsPicks Studios／取締役 チーフプロデューサー)

後藤 萌 (WOW／プランナー)

笹原 優子 (NTT ドコモ・ベンチャーズ／代表取締役社長)

千葉 功太郎 (DRONE FUND 代表パートナー／千葉道場ファンド ジェネラルパートナー／
慶應義塾大学 SFC 特別招聘教授)

天畠 カルナ (博報堂／生活者エクスペリエンスクリエイティブ局 デザイナー)

西野 亮廣 (芸人／絵本作家／プロデューサー)

坊垣 佳奈 (マクアケ／共同創業者 取締役)

松島 倫明 (『WIRED』日本版／編集長)

宮田 昇始 (SmartHR 取締役ファウンダー／Nstock 代表取締役 CEO)

村田 祐介 (インキュベイトファンド／代表パートナー)



一般社団法人 ACC
(All Japan Confederation of Creativity)

フィルムクラフト部門および、「ほかご依頼中」の審査委員につきましては、決まり次第「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにて、発表いたします。

各審査委員のプロフィール等詳細につきましても、特設サイトよりご覧いただけます。

■ <http://www.acc-awards.com/juries2022/>